

#### (4) 2年制専門課程 (2015年度入学者)

①共通必修科目(グローバルコミュニケーション科・留学科を除く)

#### Modular Learning System (MLS) (1年次) All Levels

科目名			
Modular Learning System - Language Learning Foundations (LLF)			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1年次	4単位	4単位/学期	英語
科目のねらい Objectives			
<p>より良い学習方法を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習プロセスにおいて、計画を立て実行し反省を行う。</li> <li>・前向きで意欲的な学習を行うことの価値を学ぶ。</li> <li>・他者とお互いに影響し協力し合うことが学習の手助けとなることを学ぶ。</li> </ul> <p>語彙力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異なる記述方法や異なる意味の語彙を学ぶ。</li> <li>・さまざまな学習法から、効果的に語彙を覚え蓄積させていく。</li> </ul> <p>語法運用の習熟</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英文法の構成やそれを構成している要素を理解する。</li> <li>・英文法の知識を正しく用いて、効果的なコミュニケーションを行う。</li> </ul>			
科目内容 Curriculum			
<p>このコースでは、学生は効果的な言語学習のスキルや習得方法を学び、運用する大切さを学ぶ。自律学習に加え、英文法や語彙の力を伸ばす授業を行い、様々な教材・資料を扱う。学生は、目標設定、P-A-R (計画・実行・反省)、動機、学習戦略、学習計画、ボキャブラリーや基本的な語法に焦点をあてる。</p>			
成績評価 Assessment		テキスト	備考
オンラインテスト (3回) 学習計画 提出物 授業参加・態度		神田外語学院オリジナルデジタル教材	

科目名			
Modular Learning System - Speaking Listening Essentials (SLE)			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1年次	4単位	4単位/学期	英語
科目のねらい Objectives			
<p>スピーキング力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな会話形式や会話の構造を理解する。</li> <li>・会話の運び方や描写、語りやディスカッションの能力を向上させる。</li> <li>・学生に親しみのあるトピックなどについて話し、会話の掛け合いを成立させる。</li> <li>・間接話法や意識、要約のスキルを向上させる。</li> <li>・発音や抑揚、強調を向上させる。</li> </ul> <p>リスニング力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイプやジャンルの異なるリスニングを理解する。</li> <li>・要点や大旨、また詳細をつかむリスニング力をつける。</li> <li>・長文リスニングを聞き取る。</li> </ul>			
科目内容 Curriculum			
<p>このコースでは、自信を持ち、またコミュニケーション力のある会話を身につけるための基本的なスピーキング・リスニングスキルを学ぶ。全般的なスピーキングやリスニングにおいて会話の流暢さや語彙力の向上を目標とする。質問、語り、描写、意見やディスカッションなども含め、会話の話し出しから終わりまでの様々なスキルを学ぶ。</p>			
成績評価 Assessment		テキスト	備考
プレゼンテーション スピーキングテスト (2回) 提出物 授業参加・態度		神田外語学院オリジナルデジタル教材 "Really English", Online Learning Program	

科目名			
Modular Learning System - Reading Writing Essentials (RWE)			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1年次	2単位	2単位/学期	英語
科目のねらい Objectives			
<p>リーディング力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な読み物のジャンルと構造を理解する。</li> <li>・予測、スキミング、スキヤニング、そして（主旨・詳細を読み取るための）読解、の各々の技能をあらゆる読書に応用する。</li> <li>・長時間にわたって読書ができる。</li> <li>・推論、分析、評価の各技能をあらゆる読書に応用する。</li> <li>・文章を要約し、言い換える技能を高める。</li> </ul> <p>ライティング力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なジャンルの文章や構造を理解する。</li> <li>・ブレンストーミング、要約、校正、書き直しの各々の技能をあらゆる文章に応用する。</li> <li>・効果的な段落やエッセイが書ける。</li> <li>・ビジネスシーンにおける英文メールや書類作成について理解する。</li> <li>・要約と言い換えの技能を高める。</li> </ul>			
科目内容 Curriculum			
このコースでは、学生は英語の読み書きにおいてより堪能になるために必要なスキルを学習する。リーディングでは本旨や詳細を理解し、スキミングやスキヤニングなどのスキルを身につける。ライティングにおいては文章の作成や要約のスキルをテストする。授業についてはEFL Englishマガジンも取り入れる。			
成績評価 Assessment	テキスト	備考	
オンラインテスト（3回/学期） ライティング課題提出（3回/学期） その他課題提出物 授業参加・態度	神田外語学院オリジナルデジタル教材 “Really English”, Online Learning Program グレーデッドリーダー メリーグラスゴーEFL マガジン		

国際コミュニケーション英語 EIC（1年次） All Levels

科目名			
English for International Communication - Communication Strategies I/ II/ III			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1年次	8単位	6単位 (I/II)/2学期 2単位 (III)/3学期	英語
科目のねらい			
<p>学生は以下の学習を通して、より優れた話し手になる：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し方や話の構造について理解する。</li> <li>・会話の運び方、描写、朗読、ディスカッションの各能力を高める。</li> <li>・日常会話ができ、自分の生活やよく知っている事について話せる。</li> <li>・間接話法、言い換え、要約の各技能を高める。</li> <li>・発音、イントネーション、強弱を改善する。</li> <li>・テキストで学んだトピックについて話し合うための語彙や表現を学ぶ。</li> </ul> <p>学生は以下の学習を通して、より優れた聞き手になる：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なリスニングのタイプやジャンルを理解する。</li> <li>・概要や主旨、詳細をつかむためのリスニング力をつける。</li> <li>・長時間のリスニングができる。</li> <li>・テキストで学んだトピックに基づくリスニング用の文章を学習する。</li> </ul>			
科目内容			
このコースは学生のスピーキング・リスニング・プレゼンテーションの各技能を高めることを重視する。テキストを使ってトピックや文法、語彙、ディスカッションスキル、語り、描写の方法等を学ぶ。学生はさらにプレゼンテーションスキルの向上を図る。			
成績評価	テキスト		備考
プレゼンテーション（2回/学期） スピーキングテスト（2回/学期） リスニングテスト（2回/学期） 提出物 授業参加・態度	神田外語学院オリジナルデジタル教材 “Really English”, Online Learning Program テキスト： Level 1: Miles Craven & Kristin D. Sherman, <i>Q: Skills for Success: Listening and Speaking</i> , Oxford University Press Level 2: Miles Craven, <i>Breakthrough Plus 3</i> , Macmillan Language House Level 3: Miles Craven, <i>Breakthrough Plus 2</i> , Macmillan Language House Level 4: Miles Craven, <i>Breakthrough Plus 1</i> , Macmillan Language House		

科目名			
English for International Communication - English Foundations I / II			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1年次	6単位	4単位/2学期 2単位/3学期	英語
科目のねらい			
<p>学生は以下の学習を通して、より優れた読み手になる：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な読み物のジャンルと構造を理解する。</li> <li>・予測、スキミング、スキヤニング、そして（主旨・詳細を読み取るための）読解、の各々の技能をあらゆる読書に応用する。</li> <li>・長時間にわたって読書ができる。</li> <li>・推論、分析、評価の各技能をあらゆる読書に応用する。</li> <li>・文章を要約し、言い換える技能を高める。</li> <li>・<b>Really English</b>（オンライン学習プログラム）で学んだことから語彙やトピックの内容を学ぶ。</li> </ul> <p>学生は以下の学習を通して、より優れた書き手になる：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なジャンルの文章や構造を理解する。</li> <li>・ブレンストーミング、要約、校正、書き直しの各々の技能をあらゆる文章に応用する。</li> <li>・効果的な段落やエッセイが書ける。</li> <li>・要約と言い換えの技能を高める。</li> </ul>			
科目内容			
このコースでは読解や作文の技能の更なる向上を目指す。グレーデッドリーダー（ペーパーバック）、メリーグラスゴウのEFL誌の記事、 <b>Really English</b> （オンライン学習プログラム）のトピック等を使用する。			
成績評価	テキスト	備考	
オンラインリーディングプログラム ライティング課題提出（3回/学期） その他課題提出物 授業参加・態度	神田外語学院オリジナルデジタル教材 “Really English”, Online Learning Program グレーデッドリーダー メリーグラスゴウEFLマガジン		

科目名			
English for International Communication - Active English			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1年次	1単位	1単位/3学期	英語
科目のねらい			
<p>学生は以下の学習を通して、より優れた話し手になる：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メディアやそれが生活に与える影響について話す。</li> <li>・他の学生と共にメディア系の課題について議論し、計画を立て、（課題を）こなす。</li> </ul> <p>学生は以下の学習を通して、より優れた聞き手になる：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットで入手できるリスニング用のオンラインメディアを見たり、質問に答えたりする。</li> <li>・概要、主旨、詳細をつかむためのリスニング技能を高める。</li> </ul> <p>学生は以下の学習を通して、英語のオンラインメディアの理解を深められる：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットで入手できる様々なソーシャルメディアを探求する。</li> <li>・コンピューター技術を利用して課題を作成する。</li> </ul>			
科目内容			
このコースでは文化や英語、創造性を学ぶためにマルチメディアを利用する。テレビコマーシャルや番組、ゲームショー、ビデオブログ、ユーチューブやTEDプレゼンテーションなどをトピックとして扱う。			
成績評価	テキスト	備考	
メディアを使ったプロジェクト 課題提出 エッセイ 授業参加・態度	神田外語学院オリジナルデジタル教材		

国際コミュニケーション英語 EIC（2年次）Level One

科目名			
Ideas and Opinions (IO) I / II			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
2年次	8単位	4単位/学期x2学期	英語
科目のねらい			
多様なテキストをこなし、教材の内容についてディスカッションをしたり、意見を書いたりすることにより、リーディングスキル、ライティングスキルを向上させ、分析力をつける。			
科目内容			
1年次 English Foundations の Level One を履修していること、又は他クラスにおいて特に高いスキルを示し、担当教員の推薦がある場合を受講要件とする。この授業では、学生が読んだ教材や書いた作品について発表やディスカッションを行いながら、リーディングとライティングの力を付けてゆく。学生は英語教材の多読が求められ、内容について分析や討議を行う。また、英字新聞を多読することにより、英字新聞の基本的な読解力が身につく。この授業の主眼はリーディング・ライティングスキルの向上であるが、内容についてのディスカッションやインタビューや討論等を通してスピーキングとリスニングの強化も図る。リスニング力をつけるため、KLC (KIFL Learning Center) を利用する。KLC では、学生の自立した学習を支援するため、リスニングのレベルや内容が選べるようになっている。また、語彙や文法の学習も同時に行う。この授業では、テキストや英文雑誌のほかに、多くの洋書や英語ビデオ教材を活用する。ライティング指導では、定期的に、数ページに渡るエッセイや公的・私的な書簡などの筆記課題が出され、正確性と、トピックセンテンスや事例などの様式にそった高いレベルの文章が書けるよう指導する。			
成績評価	テキスト	備考	
この授業では、主にリーディングとライティングのスキルを、通常授業中での試験及び中間・期末試験で評価する。言語的要素（新しい表現の使用、クイズ、授業、プロジェクト、中間・期末スピーキングテスト、記述テストおよびリスニングテスト）による評価に加え、非言語的要素（出席、参加、自習、努力など）も考慮する。	Nancy Douglas and Paul Macintyre: <i>Reading Explorer 3 (with CD-ROM) - Cengage, KIFL: Ideas &amp; Opinions Booklet (Upper Level)</i>		

科目名			
English in Practice (EP) I / II / III / IV			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
2年次	12単位	6単位/学期x2学期	英語
科目のねらい			
1年次に学習したスキルを基に、高度なリスニングタスクや複雑な問題や考え方についての討議を行い、更に高度なリスニングスキルとコミュニケーションスキルを習得する。			
科目内容			
1年次にCommunication StrategiesのLevel Oneを履修していること、又は他のクラスにおいて特に高いスキルを示し、担当教員の推薦がある場合を受講要件とする。この授業は、Ideas and Opinions の授業を補完し、主にスピーキング・リスニングの力を向上させる内容になっている。教材は、テキストに加え、ニュース局及びテレビニュース源から収録した教材ビデオ全12巻を用いる。これらのリスニングタスクは、1年次のCommunication Strategies Level 1 で使用した教材の発展形であり、より複雑なトピックやタスクを提供する。これにより、ディスカッションやディベートを進めるための機会を提供し、リスニングや語彙の一層の強化を図る。			
成績評価	テキスト	備考	
この授業では、主にリーディングとライティングのスキルを、通常授業中での試験及び中間・期末試験で評価する。言語的要素（新しい表現の使用、クイズ、授業、プロジェクト、中間・期末スピーキングテスト、記述テストおよびリスニングテスト）による評価に加え、非言語的要素（出席、参加、自習、努力など）も考慮する。	Toru Nishimoto and Beryl Hawkins: <i>Debating Current Issues - Seibido, KIFL: English in Practice Booklet (Upper Level)</i>		

国際コミュニケーション英語 EIC (2年次) Level Two

科目名			
Ideas and Opinions (IO) I/II			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
2年次	8単位	4単位/学期x2学期	英語
科目のねらい			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次の学習内容を更に発展させ、英語のリーディング、ライティングに重点をおきながら、スピーキング、リスニングを含めた総合的な言語能力を向上させる。</li> <li>・ビジネス取引や対人コミュニケーションのスキルを育成する。</li> <li>・英語圏の文化的認識を深める。</li> <li>・様々な話題の知識と語彙を習得する。</li> <li>・学習への自主性を育成する。</li> </ul>			
科目内容			
<p>この授業は、1年次 English Foundations I-VI 履修した学生を対象とし、読み、書き、聞く、話す力を更に伸ばすことに注力する。学生はテーマごとに自己の考えや意見を表現することに注目して、学習するテーマの知識、文化的認識を深め、語彙を増やして行く。また、1年次で学習したリーディング・ストラテジーを駆使して、より長く、より複雑なリーディングに対処できるようにする。英字新聞の基本的な読解法も学習する。スピーキング、リスニングでは、1年次に習得したスキルを駆使し、より難しい教材や語彙に対処できるようにする。また、リスニング力をつけるため、KLC (KIFL Learning Center) を利用する。KLC では、学生の自立した学習を支援するため、リスニングのレベルや内容が選べるようになっている。また、語彙や文法の学習も同時に行う。1年次に学んだライティング力をレベルアップさせ、要約や随筆などの筆記課題を完成させる。1年次終了までには多くのテーマについてより流暢に、一段と自信を深めて会話ができるようになる。</p>			
成績評価	テキスト	備考	
この授業は、言語的要素（新しい表現の使用、クイズ、授業、期末スピーキング試験）、非言語要素（出席、参加、自習、努力）により評価する。	Michael McCarthy, Jeanne McCarten and Helen Sandiford: <i>Touchstone 4</i> - Cambridge University Press, Nancy Douglas and Paul Macintyre: <i>Reading Explorer 2</i> - Heinle Cengage Learning, KIFL: <i>Ideas &amp; Opinions Booklet</i> (Upper Level)		

科目名			
English in Practice (EP) I/II/III/IV			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
2年次	12単位	6単位/学期x2学期	英語
科目のねらい			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次の学習内容を更に発展させ、英語のスピーキング、リスニングに重点をおきながら、リーディング、ライティング、プレゼンテーションを含めた総合的な言語能力を向上させる。</li> <li>・対人コミュニケーションのスキルを育成する。</li> <li>・英語圏の文化的認識を深める。</li> <li>・様々な話題の知識と語彙を習得する。</li> <li>・学習への自主性を育成する</li> </ul>			
科目内容			
<p>この授業は、1年次で Communication Strategies I-II を履修した学生を対象とし、より広範なテーマについて話し、聞く力を伸ばすことに注力する。1年次に習得したスキルを見直し、会話をコントロールしたり、感覚、感情を表現したり、討論や物語りをしたり、プレゼンテーションを行う能力を高めることに注力する。授業では、会話力を高めるために特別に作成した小冊子と、話し、聞く力を伸ばすためのテキストを使用する。又、1年次とは異なる、更に複雑なテーマを取り上げることにより、学生は語彙を増やし、文法理解を深める。プレゼンテーションを行ったり、話をする力をつけるために、ライティングとリーディングは重要な役割を演じる。学生の聞く力を伸ばすためにLL教室を使用し、討論力をつけるためにリスニング・エクササイズを用いる。2年次終了までに学生は、自己の感情や思想を英語で効果的に表現する自信が持てるようになる。</p>			
成績評価	テキスト	備考	
この授業は、言語的要素（新しい表現の使用、クイズ、授業、期末スピーキング試験）、非言語要素（出席、参加、自習、努力）により評価する。	Richard R. Day, Joseph Shaules and Junko Yamanaka: <i>Impact Issues 3</i> - Pearson-Longman, KIFL: <i>English in Practice Booklet</i> (Upper Level)		

国際コミュニケーション英語 EIC（2年次）Level Three

科目名			
Ideas and Opinions (IO) I/II			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
2年次	8単位	4単位/学期x2学期	英語
科目のねらい			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次の学習内容を更に発展させ、英語のリーディング、ライティングに重点をおきながら、スピーキング、リスニングを含めた総合的な言語能力を向上させる。</li> <li>・ビジネス取引や対人コミュニケーションのスキルを育成する。</li> <li>・英語圏の文化的認識を深める。</li> <li>・様々な話題の知識と語彙を習得する。</li> <li>・学習への自主性を育成する。</li> </ul>			
科目内容			
<p>この授業は、1年次 English Foundations I-VI 履修した学生を対象とし、読み、書き、聞く力を更に伸ばすことに注力する。学生はテーマごとに自己の考えや意見を表現することに注目して、学習するテーマの知識、文化的認識を深め、語彙を増やせるようにする。また、1年次で学習したリーディング・ストラテジーを駆使して、より長く、より複雑なリーディングに対処できるようにする。英字新聞の基本的な読解法も学習する。スピーキング、リスニングでは、1年次に習得したスキルを見直し、より難しい教材や語彙に対処できるようにする。また、リスニング力をつけるため、KLC (KIFL Learning Center) を利用する。KLC では、学生の自立した学習を支援するため、リスニングのレベルや内容が選べるようになっている。また、語彙や文法の学習も同時に行う。1年次に学んだライティング力をレベルアップさせ、要約や随筆などの筆記課題を完成させる。1年次終了までには多くのテーマについてより流暢に、一段と自信を深めて会話ができるようになる。</p>			
成績評価	テキスト	備考	
この授業では、評価は言語的要素（クイズ、授業、会話の試験）と非言語的要素（出席、参加、新しい表現の使用、自習および努力）の両方により行う。	Nancy Douglas: <i>Reading Explore 1-</i> Cengage Learning, John Soars and Liz Soars, <i>American Headway 2-</i> Oxford University Press, KIFL: <i>Ideas &amp; Opinions Booklet (Lower Level)</i>		

科目名			
English in Practice (EP) I/II/III/IV			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
2年次	12単位	6単位/学期x2学期	英語
科目のねらい			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次の学習内容を更に発展させ、英語のスピーキング、リスニングに重点をおきながら、リーディング、ライティング、プレゼンテーションを含めた総合的な言語能力を向上させる。</li> <li>・対人コミュニケーションのスキルを育成する。</li> <li>・英語圏の文化的認識を深める。</li> <li>・様々な話題の知識と語彙を習得する。</li> <li>・学習への自主性を育成する</li> </ul>			
科目内容			
<p>この授業は、1年次で Communication Strategies I-II を履修した学生を対象とし、より広範なテーマについて話し、聞く力を伸ばすことに注力する。1年次に習得したスキルを見直し、会話をコントロールしたり、感覚、感情を表現したり、討論や物語りをしたり、プレゼンテーションを行う能力を高めることに注力する。授業では、会話力を高めるために特別に作成した小冊子と、話し、聞く力を伸ばすためのテキストを使用する。又、1年次とは異なる、更に複雑なテーマを取り上げることにより、学生は語彙を増やし、文法理解を深める。プレゼンテーションを行ったり、話をする力をつけるために、ライティングとリーディングは重要な役割を演じる。学生の聞く力を伸ばすためにLL教室を使用し、討論力をつけるためにリスニング・エクササイズを用いる。2年次終了までに学生は、自己の感情や思想を英語で効果的に表現する自信が持てるようになる。</p>			
成績評価	テキスト	備考	
この授業では、評価は言語的要素（クイズ、授業、会話の試験）と非言語的要素（出席、参加、新しい表現の使用、自習および努力）の両方により行う。	Marr Helgesen et al: <i>English Firsthand 2</i> by Pearson-Longman, KIFL: <i>English in Practices Booklet (Lower Level)</i>		

国際コミュニケーション英語 EIC（2年次）Level Four

科目名			
Ideas and Opinions (IO) I/II			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
2年次	8単位	12単位/学期x2学期	英語
科目のねらい			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次の学習内容を更に発展させ、英語のリーディング、ライティングに重点をおきながら、スピーキング、リスニングを含めた総合的な言語能力を向上させる。</li> <li>・ビジネス取引や対人コミュニケーションのスキルを育成する。</li> <li>・英語圏の文化的認識を深める。</li> <li>・様々な話題の知識と語彙を習得する。</li> <li>・学習への自主性を育成する。</li> </ul>			
科目内容			
<p>この授業は、1年次 English Foundations I-VI 履修した学生を対象とし、読み、書き、聞く力を更に伸ばすことに注力する。学生はテーマごとに自己の考えや意見を表現することに注目して、学習するテーマの知識、文化的認識を深め、語彙を増やせるようにする。また、1年次で学習したリーディング・ストラテジーを駆使して、より長く、より複雑なリーディングに対処できるようにする。英字新聞の基本的な読解法も学習する。スピーキング、リスニングでは、1年次に習得したスキルを見直し、より難しい教材や語彙に対処できるようにする。また、リスニング力をつけるため、KLC (KIFL Learning Center) を利用する。KLCでは、学生の自立した学習を支援するため、リスニングのレベルや内容が選べるようになっている。また、語彙や文法の学習も同時に行う。1年次に学んだライティング力をレベルアップさせ、要約や随筆などの筆記課題を完成させる。1年次終了までには多くのテーマについてより流暢に、一段と自信を深めて会話ができるようになる。</p>			
成績評価	テキスト	備考	
この授業では、評価は言語的要素（クイズ、授業、会話の試験）と非言語的要素（出席、参加、新しい表現の使用、自習および努力）の両方により行う。	Ken Wilson: <i>Smart Choice 2</i> - Oxford University Press, Nancy Douglas and Paul Macintyre: <i>Explorer Intro with Student CD-ROM</i> – Heinle/Cengage Learning, KIFL: <i>Ideas &amp; Opinions Booklet</i> (Lower Level)		

科目名			
English in Practice (EP) I/II/III/IV			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
2年次	12単位	6単位/学期x2学期	英語
科目のねらい			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次の学習内容を更に発展させ、英語のスピーキング、リスニングに重点をおきながら、リーディング、ライティング、プレゼンテーションを含めた総合的な言語能力を向上させる。</li> <li>・対人コミュニケーションのスキルを育成する。</li> <li>・英語圏の文化的認識を深める。</li> <li>・様々な話題の知識と語彙を習得する。</li> <li>・学習への自主性を育成する</li> </ul>			
科目内容			
<p>この授業は、1年次で Communication Strategies I-II を履修した学生を対象とし、より広範なテーマについて話し、聞く力を伸ばすことに注力する。1年次に習得したスキルを見直し、会話をコントロールしたり、感覚、感情を表現したり、討論や物語りをしたり、プレゼンテーションを行う能力を高めることに注力する。授業では、会話力を高めるために特別に作成した小冊子と、話し、聞く力を伸ばすためのテキストを使用する。又、1年次とは異なる、更に複雑なテーマを取り上げることで、学生は語彙を増やし、文法理解を深める。プレゼンテーションを行ったり、話をする力をつけるために、ライティングとリーディングは重要な役割を演じる。学生の聞く力を伸ばすためにLL教室を使用し、討論力をつけるためにリスニング・エクササイズを用いる。2年次終了までに学生は、自己の感情や思想を英語で効果的に表現する自信が持てるようになる。</p>			
成績評価	テキスト	備考	
この授業では、評価は言語的要素（クイズ、授業、会話の試験）と非言語的要素（出席、参加、新しい表現の使用、自習および努力）の両方により行う。	Marc Helgesen et al.: <i>English Firsthand 1 with Audio CDs</i> – Pearson/Longman, KIFL: <i>English in Practice Booklet</i> (Lower Level)		

科目名			
BP I (SPI3)			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1年次1学期	2単位	2単位/学期	日本語
科目のねらい			
ビジネスの世界に入る必修基礎教養として、SPI3の非言語分野の習得を目指す。			
科目内容			
① 非言語分野の基礎教養の習得 鶴亀算、割合、不等式、濃度算、仕事算、水槽算、損益算、速度算、流水算、順列・組合せ、確率、虫食い算、n進法、数列、図形の証明 等々			
成績評価	テキスト		備考
出席・授業40%、平常点(授業態度等) 10%、期末テスト50%	SPIパーフェクト問題集 高橋書店		

科目名			
BP II (SPI3)			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1年次2学期	2単位	2単位/学期	日本語
科目のねらい			
ビジネスの世界に入る必修基礎教養として、SPI3の非言語分野の習得を目指す。			
科目内容			
② 非言語分野の基礎教養の習得 命題 集合 推論 ブラックボックス モノの流れ フローチャート 図表の読取り てこ 滑車 運動力学 電気回路 グラフの領域 新傾向問題 等々			
成績評価	テキスト		備考
出席・授業40%、平常点(授業態度等) 10%、期末テスト50%	SPIパーフェクト問題集 高橋書店		

科目名			
BP III (業界・企業研究)			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1年次3学期	1単位	1単位/学期	日本語
科目のねらい			
業界・企業研究を実践するうえで必要な知識と能力の獲得を目指す。就職活動はもちろん、実社会で仕事に取り組む上で必要なビジネス的思考を深めていく。			
科目内容			
業界・企業研究において必要な、ビジネスフレームワークの習得を目指す。3C、PEST、SWOT分析活用しながら、業界・企業を分析し、ビジネス的思考も取り入れながら、企業の理解を深めていく。マーケットの分析では、決算短信や財務諸表なども活用し、多角的に企業を見る目を養う。			
成績評価	テキスト		備考
出席 50% 提出物 20% 期末テスト 20% 授業態度 10%	オリジナル教材		

科目名			
BPiV (ビジネスキャリア)			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
2年次1学期	2単位	2単位/学期	日本語
科目のねらい			
「働くとは」「企業とは」「生きるとは」、テキストをベースにその文脈の裏側にある歴史的、社会的、政治的背景、経済的、技術的背景を理解し、多角的視野からビジネスやキャリアの本質を問いただしていく。			
科目内容			
LTD(話し合い学習法)をベースに、企業組織と個の関わり方、働き方に関して、理解を深めていく。ケースとして「富士メガネ」「亀田総合病院」「未来工業」「ネットトヨタ南国」などを活用し、企業経営、CSR、企業文化、リーダーシップに関して学んでいく。			
成績評価	テキスト		備考
出席 50% 提出物 20% 期末テスト 20% 授業態度 10%	『日本でいちばん大切にしたい会社』坂本光司 (あさ出版)		

科目名			
BPV (ビジネスキャリア)			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
2年次2学期	2単位	2単位/学期	日本語
科目のねらい			
「働くとは」「企業とは」「生きるとは」、日本経済新聞をベースにその文脈の裏側にある歴史的、社会的、政治的背景、経済的、技術的背景を理解し、多角的視野からビジネスやキャリアの本質を問いただしていく。			
科目内容			
2学期は日本経済新聞を活用し、毎回その日の記事を題材に授業を進めていく。一つの記事から、その裏側にある様々な事象を捉え、多角的に検討していく。7週目からは、グループごとに、新聞記事を題材にチームでその記事に関する解説授業を実施し、教えることを通じ、さらなる理解を深めていく。本講義を通じ、多角的な視座を身に付けることを目指す。			
成績評価	テキスト		備考
出席 50% 提出物 20% 期末テスト 20% 授業態度 10%	日本経済新聞 (朝刊)		

科目名			
TOEIC 講座 A (Reading)			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1年次	4単位 (英語専攻科5単位)	2単位/学期×2学期 (1・2学期) 1単位/学期×3学期 (英語専攻科のみ)	日本語
科目のねらい			
① 英語力判定基準として社会的に広く用いられている TOEIC テストの試験内容と具体的な設問ごとの解答方法について理解を深め、それぞれのレベルでのスコアアップを目指す。 ② リーディング問題の各パート別の攻略方法や文法・ボキャブラリー・長文読解力を強化し、総合的な TOEIC 対策を目指す。			
科目内容			
習熟度別に異なるテキストを使用しながら、リーディングセクションの各パートの解答方法を習得する。また、TOEIC において頻繁に使われる語法や文法ポイントの整理を通じて、英語の基礎力の養成を図る。同時に単語力の強化を図り、リーディングの基礎となる英単語を身に付ける。授業の進め方、及び年間計画の一例は下記の通り。 1 学期：新公式問題集のリーディングセクションの問題を解きながら、それぞれのセクションで必要とされる解答方法を理解する。又、TOEIC で必要とされる基本的な文法項目やボキャブラリーを習得していく。 2 学期：毎回、小テストを実施しながら、より実践的な TOEIC の攻略法を習得する。各パートの問題の傾向や対策方法を学びながら各レベル別に目標スコアを達成する。			
成績評価	テキスト		
出欠席、授業参加態度、1年生対象統一単語テスト、小テスト、期末テストの結果を総合し、A～Dの成績を決定する	All Levels: 『TOEIC テスト 新公式問題集 Vol.1.5』(財) 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会発行 All Levels: 『新 TOEIC (R) TEST 出る順で学ぶボキャブラリー990』神崎 正哉著 (講談社) Advanced/Intermediate: 『TOEIC テスト公式プラクティスリーディング編』ETS (国際ビジネスコミュニケーション協会) Intermediate/Basic : 『TOEIC テスト書き込みノート文法編』富岡 恵著 (学研教育出版)		

科目名			
TOEIC 講座 B (Listening)			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1 年次	4 単位 (英語専攻科 5 単位)	2 単位/学期×2 学期 (1・2 学期) 1 単位/学期×3 学期 (英語専攻科のみ)	日本語
科目のねらい			
③ 英語力判定基準として社会的に広く用いられている TOEIC テストの試験内容と具体的な設問ごとの解答方法について理解を深め、それぞれのレベルでのスコアアップを目指す。			
④ リスニング問題の各パート別の攻略方法や文法・ボキャブラリー・聞き取り力を強化し、総合的な TOEIC 対策を目指す。			
科目内容			
習熟度別に異なるテキストを使用しながら、リスニングセクションの各パートの解答方法を習得する。また、TOEIC において頻繁に使われる語法や文法ポイントの整理を通じて、英語の基礎力の養成を図る。同時に単語力の強化を図り、リスニングの基礎となる英単語を身に付ける。授業の進め方、及び年間計画の一例は下記の通り。1 回の授業では、リスニング (I～IV) からそれぞれ 1 セクションずつ取り扱う。 1 学期：新公式問題集のリスニングセクションの問題を解きながら、それぞれのセクションで必要とされる解答方法を理解する。又、TOEIC で必要とされる基本的な文法項目やボキャブラリーを習得していく。 2 学期：毎回、小テストを実施しながら、より実践的な TOEIC の攻略法を習得する。各パートの問題の傾向や対策方法を学びながら各レベル別に目標スコアを達成する。			
成績評価	テキスト		
出欠席、授業参加態度、1 年生対象統一単語テスト、小テスト、期末テストの結果を総合し、A～D の成績を決定する	All Levels: 『TOEIC テスト 新公式問題集 Vol.2』 (財) 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会発行 『新 TOEIC(R) TEST 出る順で学ぶボキャブラリー990』神崎 正哉著 (講談社) 『TOEIC テスト公式プラクティスリスニング編』ETS (国際ビジネスコミュニケーション協会)		

科目名			
TOEIC 講座 2			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
2 年次	4 単位	2 単位/学期×2 学期	日本語
科目のねらい			
① 1 年次に学習したものを基礎にして、リスニング力及びリーディング力の強化を図る。両セクションの各パートの出題内容をより細かく分析する。			
② リーディング及びリスニングの速読・速解スキルを習得して、TOEIC のみならず実践的な英語運用能力を強化する。			
科目内容			
新公式問題集を使用しながら、リスニング・リーディングの各パートの問題を解いていき、傾向と対策をすると共に、レベル別に目標スコアを設定して、確実に学期ごとにスコアアップを図る。授業の進め方及び年間計画の一例は下記の通り。1 回の授業では、リスニング (I～IV)・リーディング (V～VII) からそれぞれ 1 セクションずつ取り扱う。 1 学期：頻出問題を解きながら、それぞれのパートの出題傾向とその攻略法を習得し、同時に解答スピードを上げるスキルを身につける。 2 学期：毎時間、模擬試験を実施しながら各自のスコアをできる限りアップさせていく。授業以外での自主学習法について自分のレベルにあった学習方法を習得する。			
成績評価	テキスト	備考	
出欠席、授業参加態度、小テスト、期末テストの結果を総合し、A～D の成績を決定する	All Levels: 『TOEIC テスト 新公式問題集 Vol.5』 (財) 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会発行 Advanced: 『改訂版 TOEIC@TEST 文法・語法出るところだけ! 問題集』小石裕子 (アルク) Intermediate/Basic 『改訂版 TOEIC(R) TEST 英文法 出るところだけ!』小石裕子 (アルク) All levels: 『新 TOEIC TEST 出る単特急 金のフレーズ』加藤武彦著 (朝日新聞出版)		

科目名			
Hybrid English Learning Program (HELP)			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1・2年次	8単位	1年 2単位×1・2学期 2年 2単位×1・2学期	英語・日本語
科目のねらい			
英語が話されていない学習環境のデメリットを、バーチャル世界を使うことで解消し、英語を道具として使う疑似体験をすることで楽しみながら会話力の強化を図る。			
科目内容			
教室授業とバーチャルな世界での英語使用とを組み合わせることで、教室で学習したことを疑似体験によって使うことにより、英語が使えることを確認して行きます。3週で1トピックずつ学習し、最初の2回の教室授業で新しい表現の学習とロールプレイを練習し、最後の1回でSecond Life で英語を使ってネイティブスピーカーとの会話を試します。			
成績評価	テキスト		備考
出席 20%、クイズ・Second Life 60%、パフォーマンス 20%	オリジナル教材、インターネット Second Life 神田外語オリジナルサイト		

科目名			
ビジネスソフト・トレーニング			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1年次	5単位	2単位/1・2学期 1単位/3学期	日本語
科目のねらい			
1、2学期を通じて、マイクロソフト社の、Word、PowerPoint、Excelを使用し、ビジネス利用に必要なソフトの基礎技術を総合的に学習。3学期では、各々の進路で求められるスキルや資格取得を目的に、任意の講座を選択必修として学習。			
科目内容			
<p><b>【Word基礎】 1 学期</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Wordの基本操作/Wordの画面構成を確認、文書作成とページレイアウトの設定。</li> <li>・ 文字の編集/文字サイズや書体の変更、文字配置の調整。</li> <li>・ 図形描画と編集/図形描画機能を使用して、地図や図形の作成と編集。</li> <li>・ 表作成と罫線の編集/表の作成と調整。行や列などの罫線や網掛けの設定。</li> <li>・ 画像の利用/クリップアートや写真などの利用方法と位置やサイズの調整。</li> <li>・ 段落書式の設定/行間の設定や箇条書きの設定、その他、段落に対する書式設定。</li> <li>・ 段組み/文書を複数の段に分けてレイアウト。</li> <li>・ 印刷の設定/余白やヘッダー・フッターの設定、用紙サイズや方向の設定。</li> </ul> <p><b>【PowerPoint基礎】 1 学期</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ PowerPointの基本操作/PowerPointの画面構成、スライドの挿入削除。</li> <li>・ スライド作成/スライドの挿入削除、レイアウト、デザイン、配色。</li> <li>・ プレゼンテーションの表示切り替え。</li> <li>・ アニメーションの付加と編集。</li> <li>・ スライドノートと印刷の設定。</li> </ul> <p><b>【Excel基礎】 2 学期</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Excelの基本操作/Excelの画面構成を確認。</li> <li>・ 表の作成と編集/数字や文字の入力。行や列の調整、罫線の設定。</li> <li>・ グラフの作成/グラフの特性を活かした作成と編集。</li> <li>・ 数式と関数/セル参照と数式の確認。実務を意識した基礎関数の利用。</li> <li>・ 他のアプリケーションの利用/Excelで作成した表やグラフをWordへ配置。</li> <li>・ 印刷の設定/余白やヘッダー・フッターの設定、用紙サイズや方向の設定。</li> </ul> <p><b>【IT選択必修】 3 学期 ※開講される講座は変更となる場合があります。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報基礎 e-learning</li> <li>・ コンピュータサービス技能評価試験 表計算部門 試験対策講座</li> <li>・ コンピュータサービス技能評価試験 ワープロ部門 試験対策講座</li> <li>・ Microsoft Office Specialist Excel 試験対策講座</li> <li>・ Microsoft Office Specialist Word 試験対策講座</li> <li>・ 効果的な資料作成 PowerPoint</li> </ul>			
成績評価	テキスト		備考
1、2学期 期末試験及び、作成課題、出欠席により評価 3学期：講座により異なる（詳細は各講座説明にて）	1、2学期：KIFL IT ed., ビジネスソフト・トレーニング, KIFL. 3学期：講座により異なる		

